

日本自動車連盟（JAF）では、信号機のない横断歩道で歩行者がいる場合に一時停止しない車が多いという実態を把握すべく、2016年から全国で実態調査を行っています。
この度その最新結果が公表されましたので、お知らせします。

2023年の調査結果では、歩行者が横断歩道を渡ろうとしている場面で一時停止した車の割合は全国で45.1%でした。
前年からは5.3ポイントの向上となりましたが、未だに半分以上のクルマは法令を違反しています（※）。

※道路交通法第38条では「横断歩道等における歩行者等の優先」が規定され、横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる場合には一時停止をし、その進行を妨げてはいけなくなっています。

都道府県別にみると、長野県が84.4%で8年連続のトップ、それに次ぐのが76.4%の石川県。最下位は新潟県の23.2%で、前年から2.5ポイントの低下です。
因みに前年の最下位は沖縄県（20.9%）でしたが、今年は31.1%までアップしました。

また、前年トップの長野県（82.9%）と最下位 沖縄県とのギャップは62ポイント。
今年の場合、トップ長野県（84.4%）と最下位 新潟県のそれは61ポイントで、まだ大差がついています。

このような調査結果を契機に、各地域で交通安全のルール・マナーの遵守に対する取り組みが活発になり、上述のギャップが縮小していくことに期待したいものです。

読者のみなさんに所縁のある都道府県の状況は如何でしょうか。
当調査結果の発表内容は、以下 URL よりご覧になれます。

<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/library/survey-report/2023-crosswalk>

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

【読者の皆さまへ】

私どもは、先生方や高校生の皆さんにより有益なご支援を提供してまいりたいと考えております。

つきましては、当財団の事業やご支援メニューについて、ご意見やご要望等をお寄せください（以下のいずれかの方法にてお願いします）。

1. 当メルマガに返信
2. SNSでのコメント、返信

ツイッター <https://twitter.com/jidousyakyouiku>

フェイスブック <https://www.facebook.com/jaef2019/>